

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2792200376		
法人名	スターツケアサービス株式会社		
事業所名	グループホームきらら南翼		
所在地	大阪府大阪市生野区異中4丁目12-35		
自己評価作成日	平成29年10月1日	評価結果市町村受理日	平成30年2月26日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人ニッポン・アクティブライフ・クラブ ナルク福祉調査センター		
所在地	大阪府中央区常盤町2-1-8 FGビル大阪 4階		
訪問調査日	平成29年10月12日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平成29年3月1日にオープン致しました。介護保険法に従い認知症によって自立した生活が困難になった要介護状態のご利用者に対して家庭的な環境の中で心身の機能訓練を行うとともに地域住民との交流の元、住み慣れた環境での生活を継続できるように目指し安心と尊厳のある生活をご利用者がその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことが出来るよう支援することを目的としています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

調査当日に頂いた昼食は、利用者も参加して調理された「特選きららカレー」であった。このメニューは事業所が地域の高齢者家庭用にと考案した認知症予防レシピである。すでに地域で試食会も行われたようである。事業所は半年前にオープンし、まだ1ユニットだけの運営であるが、全職員で利用者の残存能力を、掃除、洗濯、食事作り、片付け、などの家事作業で発揮してもらう場面を用意する事と、「個々の利用者は何ができるか」を考える事を認知症ケアの原点として追及している。「職員はしてあげるではなく、できるように手伝う」家では何も手伝いをしなかった男性利用者が掃除をしているのを家族が見て驚いた話も聞く。間もなく、2ユニット目もオープンになるが、利用者と職員の笑顔の絶えない、そして地域と支え合う認知症の人が暮らす事業所を期待したい。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の朝礼時に理念の唱和を行い、きょう一日理念を踏まえた具体的な行動を職員一人ひとりに確認させて頂いております。	「その人らしさを優先したサービスの提供」 「社会福祉に携わる者としての自覚と誇り」 「地域の一員であることの自覚」を理念に表現して、心を込め、心を豊かにし、心の触れ合いを大切に利用者への支援を実践している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎朝の散歩または買い物途中に行き交う人、地域の方と挨拶を交わしながら歩いております。また、認知症予防食の実施や夏祭りを通じて地域の方がホームに足を運びやすい環境を整備させて頂いております。	開設して間もないが地域社会との触れ合いを事業所理念にも表現している。庭の草花を通じて近所の人と親しくしたり、近隣高齢者のための認知症予防の献立を考案し、情報提供を行うなど、地域交流に努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症予防食の実施により地域の方へ作り方やレシピの公開を行い、試食を実施。 夏祭りの実施により地域の方にも参加して頂きました。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議で利用者やご家族から頂いたご意見を活かしサービスの向上に努めます。	3月に開設して、早速5月から第1回目の会議が開催された。地域包括、知見者として薬剤師、複数の家族に利用者も加わって行われた。現状報告やこれからの運営計画、行事計画を報告し、出席者との意見交換が行われた。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市役所との連携をとれるよう対応させて頂きます。自治会や老人会の参加を頂けておりませんので参加を促すよう指摘を受けております。	市及び区の担当窓口、地域包括支援センターや消防署など必要な関連部署との協力関係を確立して、事業所運営状況を報告したり、地域情報の収集等に活用している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年間2回以上の研修を実施しております。	職員は研修にて身体拘束防止に関係する介護について知識を習得すると同時に、利用者のADL状態や個々の事案ごとに職員間で話し合っ、身体拘束にならない支援方法を選択して対応している。帰宅願望のある利用者には意識して寄添って優しく接している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修を実施し関心と理解を深めております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	研修を実施し関心と理解を深めております。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	丁寧な説明と時間をかけた契約を心がけております。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご意見及び苦情箱を設けております。運営推進会議にて質問等のあった場合は丁寧な説明を心がけております。	運営推進会議後に家族会を行ったり、「生活状況報告シート」にて健康状態、生活状況、行事予定、職員異動等を毎月家族あてに届けている。家族の悩みや相談事には努めて対応するように心がけている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月全体会議を実施しております。年2回の懇親会を予定しております。今年はずでに1回実施しております。	3月に開設して、新しく採用された職員チームであるが、法人研修や職員ミーティングや懇談会開催等の運営努力もあり、職場の意思疎通が図られている。	職員の皆さんは私たち調査員に笑顔で対応してくれた。新ユニットの職員も今後加わって来るが、今の笑顔を大切にして「心」を笑顔で表現することを期待したい。
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	昇給、賞与に関しまして個人別にフィードバックをしております。また、7月は挨拶推進月間。8月は笑顔月間。9月はありがとう月間。10月はお節介月間を実施しております。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人としては毎月研修を実施。外部研修の推進受講料補助等しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会が概ね3か月に一度実施されているため参加させていただいております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントや本人の気持ちを理解すべくコミュニケーションに時間をかけております。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	体調の変化やご様子の電話連絡は随時実施しております。毎月1回は1か月の状況報告を書類にてご報告させて頂いております。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	キメ細やかにヒアリングを実施し気持ちの変化や体調の変化に合わせて素早い対応を心がけております。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご入居者様から教えを乞うことを念頭に置き支えあって生活をさせて頂いております。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員は御家族様にホームでの生活の様子や体調についてお話をさせて頂いております。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様をはじめご親戚やご友人の訪問を時間限定せず随時訪問させて頂いております。	家族や本人から知人や行き付けの美容院などを聞き、入居後も以前の暮らしと同じように美容院へ行ったり買い物に出かける機会を作る工夫を行っている。手紙や電話にも出られるように配慮をしている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	孤立しないようさりげなく声を掛けさせて頂いております。また、必要なことを居室内で完結しないよう極力リビングにてお過ごし頂いております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	関係終了後1か月後に電話連絡させて頂いております。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	行きたい場所や食べたいものの希望をお聞きして実現できるよう支援させて頂いております。職員のみで実施が難しいときはご家族様にもご相談させて頂いております。	本人の思いに沿うように、好きな食べ物、趣味などを聞き、家族の協力を得ながら本人の生活歴を把握してホームでの暮らしでも思いに沿った過ごし方ができる支援を心掛けている。一方、趣味づくりなど新しい生きがいを見つけてもらえるような工夫も行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	生活歴や馴染みの環境を尊重し外出の機会を設けたり好物を献立に取り入れております。また、入居日初日はご本人の食べたいものや好物を用意して向かい入れております。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	起床時間や就寝時間に制限を設けず自由な時間に寝起きしていただいております。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	サービス担当者会議や毎月実施されるケアカンファにて反映させて頂いております。	本人の暮らし方への思いを確認し、家族の意向やかかりつけ医からの健康面の支持を参考にして介護支援計画を立案し、毎月のカンファレンスにて状況をフォローして必要により見直しを行っている。ケアプランは家族にも説明して同意・理解を得ている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録をより丁寧で正確な情報に出来るよう努力させて頂いております。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入浴のため日帰り温泉の実施。ナイトカフェ。 駅弁大会やお寿司の食事の実施。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	喫茶店や飲食については地域のお店を利用。神社や散歩は近所を利用。散歩中はすれ違う人誰にでも挨拶を実施。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	内科、精神科は1か月に2度の往診。また、急な体調不良には24時間オンコールにて対応して頂いております。	かかりつけ医の選定は入居時に、本人および家族の意向を優先して決めている、契約医療機関による訪問診療と24時間オンコール体制を敷き、急変時の対応に備えている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週1回の訪問と体調の変化についてはホーム側からの連絡を24時間オンコールにて対応して頂いております。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院中や日々の訪問にて病院の連携室の方とコミュニケーションを図っております。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した時の為の指針を示しております。重度化したさいには早い段階から本人やご家族様と話し合い十分説明し医療関係者とチームで支援できるよう取組みます。	入居の時点での家族への説明・話し合いの中で、重度化および終末期への事業所の対応方針を示し同意を得ている。重篤の状態に至った時点でかかりつけ医の意見を聞き、再度家族の気持ちを確認した上で、できる限りの支援行う方針である。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応や事故発生マニュアルに従い訓練しております。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年間2回以上の研修を実施しております。	設備面では、通報設備、消火設備、避難経路の確保は問題ない。ソフト面については通報・避難・消火の訓練を消防署の指導協力を得て実施している。運営推進会議等を通じて近隣の協力についてもお願いしている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人一人のプライバシーを尊重し配慮する言葉がけや対応を実施させて頂いております。	職員の利用者への声掛けや対応姿勢については、本人の気持ちや精神状態に応じた対応の中にも利用者の人格や自尊心への配慮が感じられ、落ち着いた粘り強い対応が拝見できた。個人情報保護についても職員に徹底されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	常にご希望をお聞きし自己決定できるよう努めさせて頂いております。一日に一回はおひとりおひとりとゆっくり話をさせて頂いております。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間や就寝時間に制限を設けず自由な時間に寝起きしていただいております。また、入浴時間も特にこだわらずご希望時間にご入浴頂けるよう対応させて頂いております。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	洗顔せっけんや化粧水、乳液等おしゃれに関することはご本人のご要望にてご使用させて頂いております。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	買い物、調理、片付け等を一緒に行っております。季節感のある食材を一緒に選びながら楽しいお食事を心がけております。お寿司、鍋料理、餃子、バーベキュー、駅弁の実施や買い物ついでに飲食も実施。ノンアルコールビールもご希望をお聞きして飲んでいただけるよう対応させて頂いております。	利用者と一緒に食材を買いに行き、調理も参加している。職員との共同作業でこしらえた温かい手作り料理を提供している。鍋料理や庭先でのバーベキューや駅弁を食べる日など、食事を楽しむサービス提供が行われている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日1500カロリーを目安に食事をご用意させて頂いております。水分量も1500ccを目安にしております。お茶やコーヒー牛乳等自由に選んでいただけるよう対応させて頂いております。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科衛生士が週一回訪問しますのでその際に一人ひとりに対応したケアを指導して頂いております。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	出来る限りトイレの利用を促しております。	利用者個々の排泄のリズムやパターンを記録で把握して事前のトイレ誘導・声掛けを行っている。自立したトイレでの排泄習慣ができるだけ長く継続できるように職員は努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	甘酒や納豆等の発酵食品の取り入れや運動を実施させて頂いております。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	曜日や時間を決めず入浴希望により実施させて頂いております。時には入浴剤を利用しゆっくりご入浴していただけるよう対応させて頂いております。	本人の希望を優先した入浴が行われている。ゆっくりと落ち着いて入浴を楽しんでもらえるように、入浴剤で温泉気分を楽しんでもらう工夫や会話を交えながら支援するようにしている。体調や気分により清拭やシャワー浴に切り替えて清潔保持を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室温や換気に配慮し眠くなってから就寝して頂けるよう対応させて頂いております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	お薬カートを使用し間違いの無いよう支援させて頂いております。時には薬剤師によるお薬の説明を受けたりお薬情報の理解に努めております。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一日に一回は必ず外の風に当たりに外出します。行き交う人々には必ず挨拶を行います。掃除洗濯調理も無理強いせず出来る範囲で実施出来るよう対応させて頂いております。余暇の過ごし方もご本人のご希望にて自由にお過ごし頂いております。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	一日に一回は必ず外の風に当たりに外出します。行き交う人々には必ず挨拶を行います。掃除洗濯調理も無理強いせず出来る範囲で実施出来るよう対応させて頂いております。	日中は、利用者の外出が積極的に支援されている。スーパーへの買物、外食、日帰り入浴など遠近含めた外出行事が計画されて実施されている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	日々のお買い物の支払いの際はご入居者様にお支払いをして頂いております。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	はがきで暑中見舞いや年賀状を作成して頂いております。電話も自由にお使いいただけるようリビングにて設置させていただいております。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同の空間は安全に利用できるよう配慮させて頂いております。また、ソファでのお昼寝も自由にできるよう対応させて頂いております。	全体的に明るく清潔感のある設えとなっている。キッチンとリビングが隣接し匂いや音で5感を刺激して利用者が料理に参加できるレイアウトである。庭にはコスモスが咲き、春にはチューリップでいっぱいになる計画である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや長椅子等を配置し思い思いに過ごせるよう対応させて頂いております。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人様やご家族様のご希望をお聞きして馴染みの家具等を配置して頂いております。	入居の際には本人が安心して過ごせるよう、馴染みの家具や備品を居室に持ち込んでもらうように家族にお願いしている。整理ダンス、椅子、家族の写真などがあり、落ち着いた雰囲気の部屋作りになっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレの利用や洗面は自由にrお使いいただけるよう衛生的に管理させて頂いております。		